

高津高校で得たこと

2024年1月24日

太田隆次

私は高津高校に昭和26年4月に入学、翌27年8月に岡山県玉野高校に転学しました。高津高校に在籍していたのは、正味15か月という短い期間でした。家庭の事情もあって時間が取れず、サークル活動にも参加できず、心から打ち解ける友人らしき友人は出来ませんでした。



しかし奇跡（私にとっては、です）が起きました。

転校はしても好奇心には勝てず、進路が決まって廊下に貼りだされる、高津高校の28年卒の3年生達 かつての同級生達の名前と進路を確認して帰ろうとしたその時、同じ「高津高校の定時制4年生」を名乗る二人連れに話しかけられ、妙に気が合ってその後、何と彼らと生涯の友人になりました。彼らが高津高校の最期の定時制ということでした。

一人は吉川博教君で後年、京都美術大学を経てパナソニックの広告担当を経て後年日本の美術広告協会（正確には失念）の理事長、二人目は中安正君で京都大学法学部を経て弁護士として名をなし、彼の所属の事務所から独立した阪大法学部と理学部卒の山上和則君（アメリカへの留学を助けてました）が現在、御堂筋ビル9階に弁護士、弁理士事務所を構えています。